

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度: 令和 3 年度)

施設の名称	東大阪市立角田総合老人センター 東大阪市立五条老人センター 東大阪市立高井田老人センター			指定期間	2	年度～	6	年度		
				選定方法	非公募					
				指定管理者名	社会福祉法人東大阪市社会福祉協議会					
所管部課名	福祉部高齢介護室高齢介護課			評価機関名	株式会社ブレインファーム					
施設の設置目的	地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営ませるもの。			主な事業	クラブ活動 教養講座 レクリエーション事業 地域交流事業 各種相談事業 シルバーボランティアセンター事業 高齢者地域支え合い体制づくり事業					
設置時期	昭和	57	年度							
主な料金体系 (有料・無料等)	無料									

2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)		次年度(見込)					
	平成	30	年度	令和	1	年度	令和	2	年度	令和	3	年度	令和	4
供用(開館)日数			角田:290 五条:292 高井田:290		角田:289 五条:289 高井田:289		角田:293 五条:289 高井田:293		角田:290 五条:290 高井田:290		角田:290 五条:290 高井田:290			
収支状況 (千円)	収入総額		196,397		189,291		133,999		123,804		123,804			
	指定管理者委託料		196,022		189,159		133,928		123,804		123,804			
	利用料金収入		0		0		0		0		0			
	自主事業収入		0		0		0		0		0			
	その他収入		375		132		71		0		0			
	支出総額		196,397		189,291		133,999		123,804		123,804			
	人件費		143,680		135,743		94,122		89,713		89,713			
	施設維持管理費		31,939		25,925		26,103		26,112		26,112			
	事業費		9,516		10,503		9,763		7,979		7,979			
	その他支出 (市返還金)		11,262		17,120		4,011		0		0			
収支差額		0		0		0		0		0				

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)		
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	仕様書の基準に沿って指定事業が実施されている。 老人センター運営事業は、さまざまな教養講座・レクリエーションが実施され利用者に好評を得ている。参加者から直接感想を聴くなどして要望を取り入れている点も評価できる。 高齢者地域支え合いセンター事業は、取り組みが多岐にわたるため、目的に沿った目標設定と進捗管理の説明が望まれる。 新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が激減したが、感染防止策をとったうえで、過去の利用者呼び戻すための広報が望まれる。	高齢者地域支え合いセンター事業の計画及び実行と評価をわかりやすくするため、指定管理者と協議し、今後の事業報告書に反映するよう指示していただきたい。
効率性 経費の低減等の効果があったか？	A	経費は大きく低減している。 経費の低減が、新型コロナウイルス感染症の影響による休館及びイベント中止が要因かどうかを、令和3年度実績で検証することが望まれる。	令和3年度の経費の予算と実績並びに令和2年度の経費と比較し、今後の運営指導に活用していただきたい。
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	B	諸室や個人情報保管キャビネットの施錠管理について、あいまいな運用があった。鍵持出し簿の整備や実務に沿った個人情報取り扱いの注意点をマニュアル化し、職員に周知していただきたい。 令和2年度は職員向け研修が実施されていない。年度毎に職員に対する接遇にかかわる研修、人権研修、個人情報保護研修、危機管理研修などを計画的に実施することが望まれる。	諸室や個人情報保管キャビネットの施錠管理について、改善を見届けていただきたい。 令和3年度以降の研修計画とその実施について、改善を見届けていただきたい。
継続性 財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？ 労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取組みが実施されているか？	A	法人の財務健全性は確保されている。 事業の収支予算書における支出項目と事業報告時の支出項目の表記が異なるため、予算と実績の比較管理ができない。支出項目の統一をしていただきたい。 ボランティア保険料、食材費等の預かりの現金授受について、帳簿への記録を徹底していただきたい。	指定管理者と協議し、予算と実績の比較のために支出項目の統一化を図っていただきたい。 すべての現金授受について帳簿への記録が行われているか定期的に確認いただきたい。
	A	適切に労務管理が実施されており、労務リスクにより指定管理者の業務に支障をきたす可能性は低いと思われる。	事業の継続性から見た労働環境の整備は適切と思われる。
今後期待される点や その他特記事項	最終評価 A	仕様書の基準に沿って指定管理事業が実施されており、老人センター運営事業は、高齢者からも好評を得ている。しかしながら、職員研修の計画や個人情報管理の運用面、地域支え合い事業の進捗管理の報告の手法に課題が残されている。諸課題の解決を図りながら、地域に根差した活動を期待する。	